

## 精神保健 I

担当教員 茶屋道 拓哉、吉光 清

配当年次 2年

開講時期 第1学期

単位区分 選択

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

- 1 精神の健康についての基本的考え方と精神保健学の役割について説明できるようになる。
- 2 精神保健を維持・増進するために機能している専門機関や関係職種の役割と連携について基礎的知識を備える。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	精神保健の概要（担当：茶屋道）
2	精神保健の歴史と現代における意義・課題（担当：茶屋道）
3	社会構造の変化と新しい健康観（担当：茶屋道）
4	ライフサイクルと精神の健康（出生前～思春期）（担当：吉光）
5	ライフサイクルと精神の健康（青年期～老年期）（担当：吉光）
6	ストレスと精神の健康（担当：吉光）
7	生活習慣と精神の健康（担当：吉光）
8	精神の健康、精神疾患、身体疾患に由来する障害（担当：吉光）
9	アルコール関連問題と精神保健（担当：茶屋道）
10	うつ病と自殺防止対策（担当：茶屋道）
11	現代社会を取り巻く諸相と精神保健（長寿・認知症・少子化を巡って）（担当：茶屋道）
12	精神の健康に関する心的態度（担当：茶屋道）
13	精神保健に関する予防の概念と対象（担当：茶屋道）
14	精神保健に関する国、都道府県、市町村、団体などの役割と連携（担当：茶屋道）
15	精神保健に関する専門職種（担当：茶屋道）

## 【履修上の注意事項】

- 1 必ず講義ノートを作成すること。また、配布するプリントをファイル化し毎回持参することが必要である（配布資料は何回か使用する可能性がある）。
- 2 授業前にテキストの該当部分を一読しておくこと。
- 3 授業後に配布された資料や講義ノート・テキスト等を用い振り返りを行いながら理解を深めること。

## 【評価方法】

- 1 試験による評価（70%）
- 2 授業中のレスポンスやミニレポート（30%）

## 【テキスト】

日本精神保健福祉士養成校協会＝編集『新・精神保健福祉士養成講座 第2巻 精神保健の課題と支援（第2版）』中央法規

## 【参考文献】

各講義ごとに主要文献を紹介する